

## 豪技 2026 の答申理由

豪技 2026 審査委員会  
委員長 磯部 浩巳

申請企業：株式会社オータニツール

タイトル：溶射（高速フレイム溶射、プラズマ溶射）の高度化技術

申請分野は、金属・セラミック等を加熱・溶融し母材表面に高速で吹き付ける溶射技術に関するものであり、被膜形成のみならず、耐摩耗性・耐熱性・絶縁性などの機能付与を通じて機械部品の性能向上・長寿命化を実現する表面改質技術を豪技の対象としている。

株式会社オータニツールは、創業以来培ってきた切削工具の高精度研磨技術と自社設備による母材加工技術を基盤に、母材製作→溶射施工→研磨仕上げを一貫して自社で完結できる体制を構築している。この統合プロセスは、一般に表面処理業者と加工業者が分業する領域において極めて独創的であり、高硬度・高密着の被膜形成を高精度で保証できる点で他社には見られない優れた技術的特長を有している。

本技術は 25 年以上の実績と蓄積されたノウハウに基づき、耐摩耗性、電気絶縁性、境界部の傾斜機能付与による剥離低減など多様な性能向上を可能にしている。また、ブラスト処理、溶射、再加熱、最終研磨に至る複数工程を自社で精緻に制御することで、大型部品から高精度スクリューに至るまで安定した品質を実現しており、製造現場での信頼性を裏づける実績も豊富である。

さらに、溶射技術は、環境負荷の低減、廃棄物削減、資源循環の観点から持続可能な生産プロセスとして極めて有用であり、長岡地域における表面改質技術の選択肢の一つとして、社会的意義が高い。地域製造業においては、部品の延命・再生によるコスト削減や新規市場への波及効果も期待され、長岡地域のものづくりブランド向上に資する技術として位置づけられる。

以上のことから、株式会社オータニツールによる「溶射（高速フレイム溶射、プラズマ溶射）の高度化技術」は、独創性・技術性・市場性・環境性・社会性のいずれの観点においても豪技の認定基準を十分に満たしており、豪技 2026 として認定するに相当であると答申する。



スクリュー部品への溶着事例



高速フレイム溶射作業の自動化

以上